

都市再生整備計画(第1回変更)

奥の細道むすびの地周辺地区

岐阜県 大垣市

平成23年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	おおがきし 大垣市	地区名	おくほそみち 奥の細道むすびの地周辺地区	面積	168	ha
計画期間	平成	23	年度	～	平成	25	年度	
				交付期間	平成	23	年度	～
					平成	25	年度	

目標
大目標：歴史と文化が息づく憩いと賑わいのまちづくり
目標1：賑わいと活力ある中心地の再生
目標2：中心地の交流と憩いの場づくり
目標3：歴史的資源を活用した観光まちづくり

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の都心を形成する中心市街地には、鉄道、バスなどの公共交通機関の結節点である大垣駅や商業・業務施設が集積し、西濃圏域の中心地としての役割を果たしてきた。 都心から郊外への人口移動、大型商業施設の郊外立地、車社会の進展などにより、中心市街地の空洞化、都心機能の低下が顕著になっている。 昭和60年に「中心市街地活性化計画」を策定し、大垣駅舎の改築、駅ビルの建設、駅前広場の整備、駅通りをはじめ主要幹線道路の沿道修景など計画的な都市機能の充実、再生を図ってきた。 平成10年に、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、西濃圏域の生活文化創造の交流拠点として、新たな中心市街地の再構築に取り組んだ。 まちづくり市民活動を総合的に支援育成していくために、平成15年4月に「大垣市まちづくり市民活動育成支援条例」を制定し、同年7月には市民活動の拠点施設として、「まちづくり市民活動支援センター(愛称：まちづくりプラザ)」を当地区内に設置した。 平成18年～22年にかけて、都市再生整備計画に基づき、まちづくり交付金を活用して、総合的なまちづくりに取り組んだ。 平成21年には、従来の「中心市街地活性化基本計画」を見直し、新たに「中心市街地活性化基本計画」を策定し、新たな中心市街地の再構築に取り組んでいる。 平成20年の大垣市制90周年を契機に、奥の細道むすびの地周辺整備構想を策定し、平成22年～23年にかけて、奥の細道むすびの地記念館を建設している。

課題
<ul style="list-style-type: none"> 近年の車社会の進展、大型商業施設の郊外立地などにより、大垣市の文化や伝統を育んできた「まちの顔」である中心市街地の拠点性が低下しているため、シンボリックな拠点である奥の細道むすびの地周辺及び中心市街地の導線を整備し、回遊性をより一層高める必要がある。 中心市街地には観光・交流資源が数多くあるが、観光客用の駐車場が不足しており、郊外からの誘客が図られていない。 歴史的、文化的遺産など本市の特色を生かした魅力的な公共空間の創出と風情ある都市景観の形成により、来街者の増加を図り、まちの賑わいを取り戻す必要がある。

将来ビジョン(中長期)
<ul style="list-style-type: none"> 大垣市第五次総合計画の中で、本市の都心である中心市街地について、奥の細道むすびの地周辺地区の整備をはじめとした歴史や文化など大垣の個性を生かしたまちづくりを進めるとともに、中心市街地を魅力ある都心として再整備し、地域資源と調和する都市空間づくりや景観形成を図ることを定めている。 中心市街地活性化基本計画では、全体方針として、『歩いて楽しめるとともに、住みやすく便利「大垣らしい」魅力を発揮し、まち全体でにぎわいを創出する』とし、「①観光客などの来街者や、商店街と大型店舗との連携・共存によるまちなかのにぎわい創出」、「②まちなかの利便性を活かした住宅供給によるまちなか居住の推進」の2つの基本方針を定めている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
大垣観光ボランティアガイド案内人数	人/年	大垣観光ボランティアガイドが中心市街地地区を案内した人数	大垣観光ボランティアガイドが中心市街地地区内を案内した人数を指標とし、当面、50%程度の増加を見込む。	12,570	平成21年度	18,000	平成25年度
歩行者及び自転車通行量	人/日	中心市街地地区の休日歩行者・自転車通行量	中心市街地地区の休日歩行者・自転車通行量を従前値の1.03倍を目指す。	9,400	平成21年度	9,700	平成25年度
奥の細道むすびの地周辺来訪者数	人/年	奥の細道むすびの地記念館及びイベントに参加した年間人数	特徴的な歴史資源の活用により、観光客や当地区を訪れる市民を増やし、従前値の2.4倍程度の入場者を目指す。	41,045	平成21年度	100,000	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(賑わいと活力ある中心地の再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> 奥の細道むすびの地周辺整備に併せて駐車場の整備及び周辺道路の整備に取り組むことで、来街者の増加に努める。 	<p>奥の細道むすびの地駐車場整備(地域生活基盤施設)、奥の細道むすびの地駐車場(第2)整備(地域生活基盤施設)、市道馬場船1号線整備(高質空間形成施設)、奥の細道むすびの地地区暮らし・にぎわい再生事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2(中心地の交流と憩いの場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 奥の細道むすびの地周辺整備に併せてむすびの庭公園を整備することで、交流と憩いの場を提供する。 船町公園、丸の内公園、大垣公園を改修することで、中心地との交流や憩いの場を提供する。 四季の路整備、案内板の整備、公衆便所整備、水門川橋梁修景整備をすることで、中心地との回遊性を高める。 	<p>むすびの庭公園整備(公園)、船町公園改修(公園)、丸の内公園改修(公園)、大垣公園整備(公園)、まちなか歴史回廊整備(地域生活基盤施設)、四季の路整備(高質空間形成施設)、四季の路公衆便所整備(高質空間形成施設)、水門川橋梁修景整備(高質空間形成施設)</p>
<p>整備方針3(歴史的資源を活用した観光まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和20年の戦災で焼失した大垣祭軸の浦島軸と布袋軸の軸蔵を復元するとともに、たらい舟を整備することにより一層の観光客の誘客を図る。 	<p>大垣祭軸蔵整備(地域創造支援事業)、たらい舟川下り支援事業(地域創造支援事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民参画による都市再生整備計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度～22年度にかけ、市民参画によるワークショップ等を開催し、中心市街地の課題や都市再生整備計画事業(平成18～22年度)について議論され、その結果を参考に、今回の都市再生整備計画を策定。 ○継続的なまちづくりの取り組み <ul style="list-style-type: none"> まちづくりに対するアンケート調査等を実施し、その調査結果を今後の事業展開に反映する。 ○市民への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 交付期間中の事業計画、事業の進捗状況等については、ホームページ等で情報公開し、市民の協力と参加を促す。 	

交付対象事業等一覧表

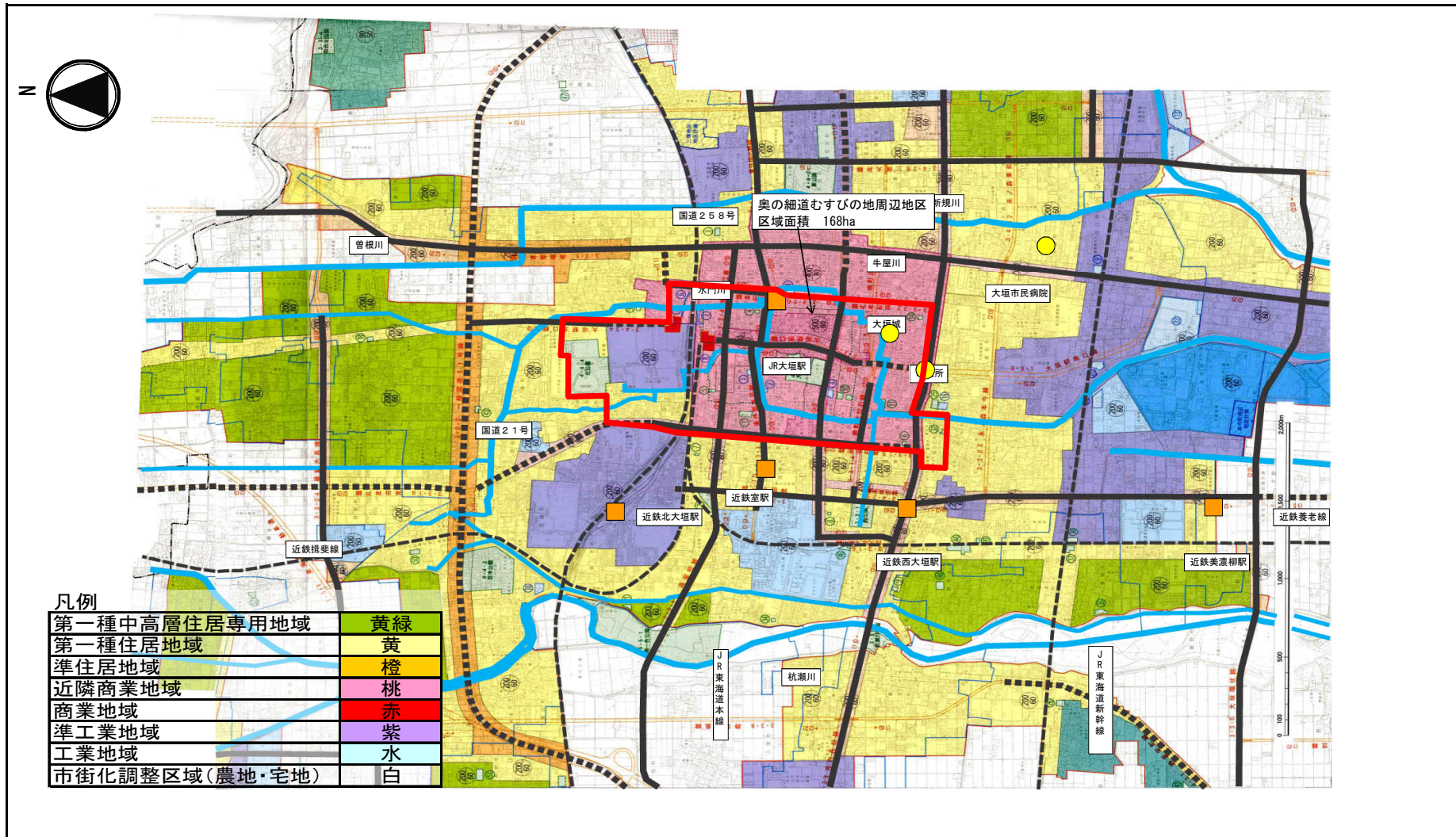
交付対象事業費	553	交付限度額	249	国費率	0.45
---------	-----	-------	-----	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園		大垣市中心市街地	大垣市	直	0.6ha	23	24	23	24	457	269	269		269
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—												
地域生活基盤施設		奥の細道むすびの地駐車場整備	大垣市	直	—	23	23	23	23	809	152	152		38
		奥の細道むすびの地駐車場(第2)整備	大垣市	直	—	23	23	23	23	596	108	108		27
		まちなか歴史回廊整備	大垣市	直	—	23	23	23	23	10	10	10		10
高質空間形成施設		四季の路整備	大垣市	直	—	23	25	23	25	60	60	60		60
		四季の路公衆便所整備	大垣市	直	—	23	23	23	23	51	51	51		51
		水門川橋梁修景整備	大垣市	直	—	23	25	23	25	9	6	6		6
		市道馬場船1号線整備	大垣市	直	280m	23	23	23	23	70	70	70		70
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,062	726	726	0	531
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造	大垣祭軸蔵整備	俵町・中町	徳町通島川保存会・中町神楽会	間		23	23	23	23	22	22	16	6	16
支援事業	たらい舟川下り支援事業	船町ほか	大垣市観光協会	間		23	23	23	23	3	3	3	0	3
事業活用調査	事業効果分析調査	—	大垣市	直	—	25	25	25	25	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業														
合計										28	28	22	6	22
													合計(A+B)	553

都市再生整備計画の区域

奥の細道むすびの地周辺地区(岐阜県大垣市)	面積	168 ha	区域 八島町、見取町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、林町2丁目、4丁目、5丁目、6丁目、室村町3丁目、4丁目、宮町1丁目、2丁目、室本町1丁目、室町1丁目、2丁目、鳩部屋町1丁目、2丁目、西外側町1丁目、2丁目、高砂町1丁目、2丁目、桐ヶ崎町、高屋町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、錦町、歩行町1丁目、2丁目、伝馬町、魚屋町、中町、新町2丁目、今岡町1丁目、2丁目、田町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、郭町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、御殿町1丁目、2丁目、鷹匠町、西長町、馬場町、船町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、寺内町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目、南頬町2丁目、3丁目、4丁目、俵町、郭町1丁目、4丁目、丸の内1丁目、2丁目、高砂町1丁目、郭町東1丁目、本町1丁目、2丁目、東外側町1丁目、栗屋町、岐阜町
-----------------------	----	--------	--



奥の細道むすびの地周辺地区（岐阜県大垣市） 整備方針概要図

目標	大目標:「歴史と文化が息づく頼いと賑わいのまちづくり」	代表的な指標	大垣観光ボランティアガイド案内人数 (人)	12,570 (21年度) → 18,000 (25年度)
	目標1:賑わいと活力ある中心地の再生		歩行者及び自転車通行量 (人)	9,400 (21年度) → 9,700 (25年度)
	目標2:中心地の交流と頼いの場づくり		奥の細道むすびの地周辺来訪者数 (人)	41,045 (21年度) → 100,000 (25年度)
	目標3:歴史的資源を活用した観光まちづくり			

